

# 公約は実現したのか？

## 本年は公約を形に表す

町長として自己評価は

最終的には住民の判断。

**町長** 運動公園予定地の仮置き場の問題は、仮置き場を反対されたからやめたのではなく、他の仮置き場について見込みが立った、なおかつ余裕ができたため。

も住民判断に委ねていく、そういう姿勢で今後も継続していきたい。

その他の質問事項  
・運動公園予定地の利活用について  
・都市マスタープラン及び第6次まちづくり総合計画の重要性和達成目標について



かとう ひでき 議員  
加藤 宏樹

### 人口増や企業誘致の公約はどうなった

企業の誘致も視野に考える。

**加藤** 宅地造成・工業用地造成・インフラ整備なしに人口増や企業誘致は不可能と思う。例えば水を大量に使う企業の誘致や本社移転に伴う社員の引越の際の矢吹町の教育水準なども判断材料となるが、それらに対しての町の考えは。

れば、水について西郷村の例にならうことは難しい。実際に水を使う工場の誘致もあり、水が問題で誘致実現に至らなかったこともあるので矢吹町の現実的な問題としてとらえている。そうした問題を抱えないで済むような、そんな企業の誘致も考えてきた。

**町長** 宅地造成やインフラ整備、工業用水、水等については、都市マスタープラン、まちづくり総合計画の中に打ち出してゆく。西郷村は、矢吹町の水源地でもあり、立地を考



堰の上工業団地

**町長** 町政を預かるものとして、事業を遂行する際、さらにはまちづくりの基本的な考え方を実施する際等においては、最良の判断、そして最善の努力を尽くしてきたと自負している。自己採点については、自身の評価はもちろんありますが、最終的には住民の判断に委ねてきたので、これから

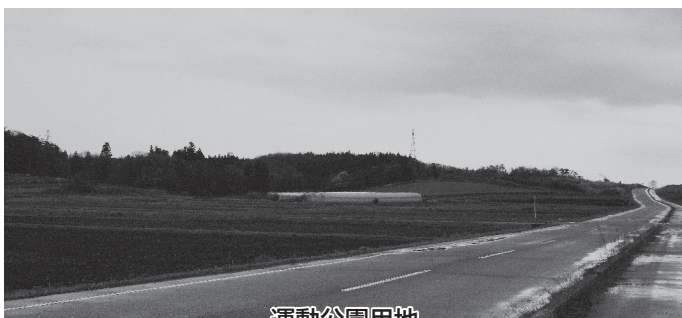
**加藤** 彼を知り己を知れば百戦始うからずということわざがありますが相手とは企業や他市町村の住民そして町民ですが彼らの目線に立って行政を行っているか。それによって町民の幸福度や満足度アップはできたか。自己採点して頂きたい。

### 仮置場は行政区が取り組む施策だったのか

仮置き場を造る必要がなくなった。

**加藤** 運動公園予定地に仮置場を造ろうとした際、一部住民の反対により取り下げ、町有地除染分まで地区仮置き場に搬入したが、協働とは町民負担が強いられる事なのか。  
**町長** 行政問題まで町民が解決するのであれば、行政は必要ない。積明を求める。

当初見込んだ汚染土壌の搬入数量よりも少なくて済んだ。矢吹町の線量が低いために少なくて済んだので運動公園予定地に仮置き場をつくらなくてもよくなった。  
矢吹町は、皆さんの知恵と汗を結集しながら、一人ひとりの力を合わせて、協働のまちづくりをしている。  
民間の協力なくして矢吹町のまちづくりというのにはあり得ない。



運動公園用地